

令和3年度 音楽Ⅰ シラバス

科目名	単位数	学 年	学 期	必修・選択	担 当
音楽Ⅰ	2	1	全	選択必修	安田 久美

1 概要および目標

- (1) 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
- (2) 生涯学習を視野に入れ、教材は時代や曲趣などに偏りなく幅広いジャンルの中から選び、主体的な学習活動を目指す。

2 成績評価

実技テスト・定期テスト・提出物・授業態度等を総合的に判断し、評価する。

実技テスト	ワークシート・小テスト	提出物	授業態度
50%	30%	10%	10%

3 使用教科書・教材

教科書：「改訂版 T u t t i 音楽Ⅰ」教育出版

「高校生の歌集つどい」や「楽典ワーク」などを必要に応じて活用する。

4 授業の展開と形態

1学年各クラスを芸術選択（書道・美術・音楽）で分ける

5 学習方法

クラスの実態に即した教材選択を行い、音楽の基礎・基本を身につけさせることを配慮しながら、より多くの演奏活動を体験させる。

6 履修上の注意

入学時に芸術科目選択調査を実施する。芸術科目に関しては、Ⅰを履修したものがⅡを履修する（高等学校指導要領より）。

音楽 I 学習計画

月	課題・目標	学習内容・要点など	配当	実習・評価等
4 5	楽しく歌おう 1. 校歌を覚える 2. 歌唱の基本的事項を確認する 3. 伴奏に合わせてのびのびと歌う	「校歌」「椰子の実」「O sole mio」 ①校歌を覚え、歌う。 ②校歌を写譜する。写譜することによって基礎的・基本的事項の達成度を確認する。 ③日本の歌やイタリア歌曲を歌う。 ④伴奏に合わせてのびのびと歌う。また、楽曲に合った歌い方の工夫をする。	1 2	発声に気をつけて歌っているか ワークシート 独唱テスト
6 7	合唱に親しむ 1. 歌い合わせる楽しさを体験する 2. 合唱曲の楽譜に慣れる 3. 美しい和声を感じとる。	「あなたに会えて・・・」「ふるさと」 ①模範演奏を鑑賞する。 ②楽譜を見ながら歌えるよう、読譜について学習しながら各自のパートを練習する。 ③パート同士で歌い合わせることによってアンサンブルの和声の響きを確認する。 ④全員で合唱することにより、歌い合わせる喜びを感じとる。	1 2	協力して合唱に参加することができたか ワークシート 学期末テスト 和声の響きを感じとることができたか
9	創作しよう 1. リズムの構成を理解する。 2. グループ活動において言語活動を活発にする。	リズム「ヤンチャなチャチャチャ」 ①リズム唱する。 ②グループで創作する。 ③発表する。	8	リズムについて理解したか 積極的に表現できたか ワークシート グループ発表
10 11	合唱を楽しむ 1. 歌い合わせる喜びを体験する 2. 表現の工夫について考える 3. 校内合唱コンクールで発表する	「混声3部合唱」「混声4部合唱」 ①合唱コンクールで発表する曲をクラスで決める。 ②パート練習ではリーダーを決め、自主的な活動を促す。 ③模範演奏を聴き、表現の工夫について話し合い、練習する。 ④舞台上で発表することにより、合唱の喜びと楽しさを感じとる。	1 2	協力して合唱に参加することができたか 表現を工夫して歌うことができたか ワークシート
11 12	ギターに親しむ 1. 伴奏楽器として演奏できるようにする	「夢のなかへ」 ①ギターの基本的奏法を習得する。 ②伴奏付けについて理解し、コード進行を習得する。	8	ギターの奏法を習得することができたか 実技テスト
12	ミュージカルを楽しむ 1. 成り立ちを理解し総合芸術を理解する	「サウンド オブ ミュージック」 ①物語と音楽の関係に気をつけ鑑賞する。 ②劇中の歌について理解する。	4	関心を持って鑑賞したか ワークシート

月	課題・目標	学習内容・要点など	配当	実習・評価等
1 2	クラスコンサート 1. アンサンブルの楽しさを味わわせる 2. 協力して演奏する 3. クラスで発表会をする	「アニメメドレー」「オーハッピーデー」「涙そうそう」他 ①指定の人数でグループを作り、演奏する曲目を選ぶ。 ②楽器の扱い方に注意し、演奏法などを習得する。 ③各グループでそれぞれの曲に合った表現の工夫を話し合い、練習する。 ④コンサート形式で、発表する。	10	積極的に練習することができたか 協力して演奏発表に臨むことができたか ワークシート 評価票
3	卒業式の歌 1. 発声に気をつけて歌う 2. 曲調に合った歌い方を工夫する クラシック音楽の世界	①卒業式実行委員会で決定した歌（曲）を練習する。 ②歌詞の意味に触れ、表現の工夫や歌い方に気をつける。 ①バロック時代や古典派時代の音楽にふれる。 ②声や楽器の音色の特徴と表現との関わりを感じ取る。	2 2	表現を工夫して歌うことができたか 関心を持って鑑賞したか

(70) 年間総時数